



投資家様向け

経営計画説明会資料

(2025年3月期～2027年3月期)

株式会社オプティマスグループ

東証スタンダード市場

(証券コード9268)

2024年4月24日

目次

03 経営計画

05 財務方針

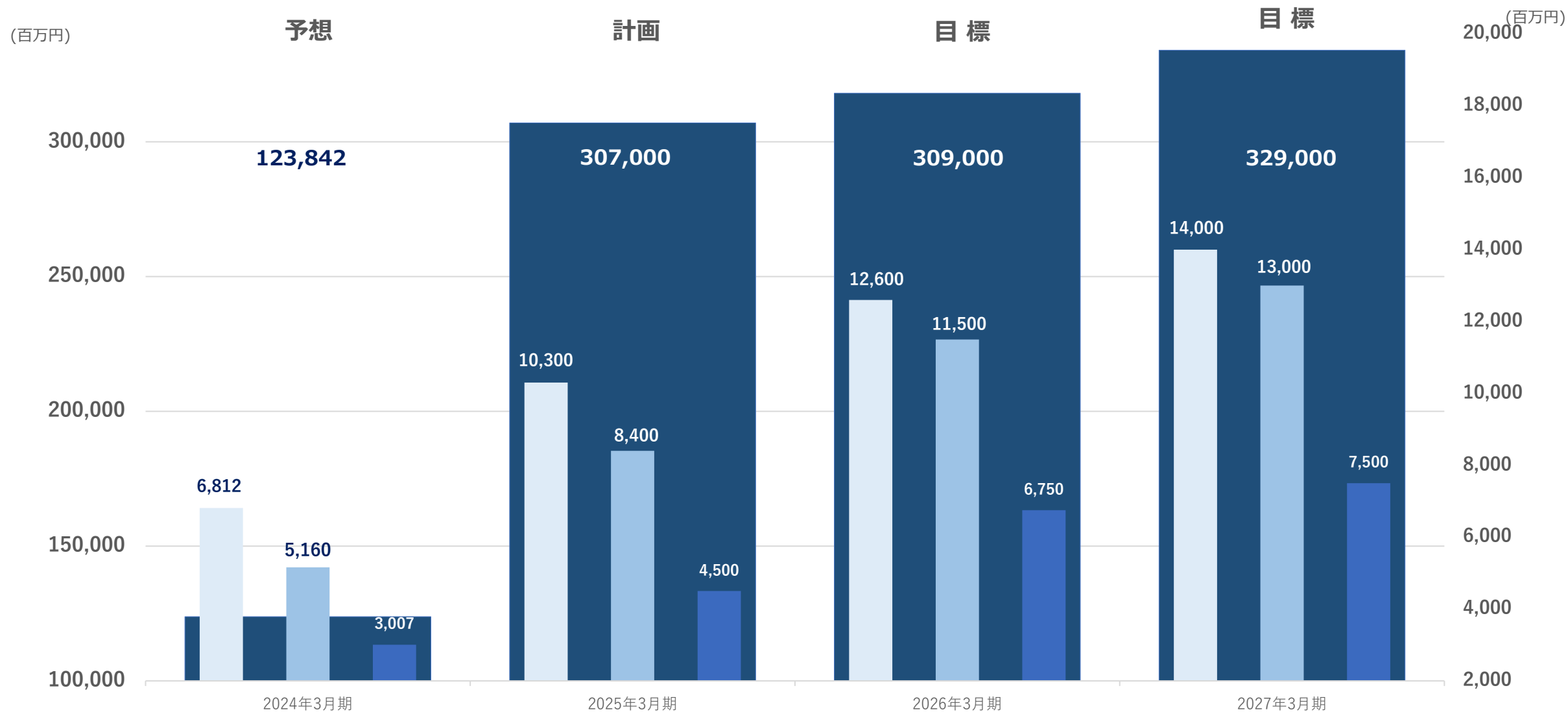
10 事業戦略と展望

22 Appendix



定量計画(2025年3月期～2027年3月期)

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) ■ 経常利益(右軸) ■ 株主に帰属する当期純利益(右軸)



定量計画(2025年3月期～2027年3月期)

単位：百万円	2024年3月期 予想	2025年3月期 計画	2026年3月期 目標	2027年3月期 目標
売上高	123,842	307,000	309,000	329,000
既存事業	78,445	86,679	91,264	106,714
新規事業	45,397	220,321	217,736	222,286
営業利益	6,812	10,300	12,600	14,000
既存事業	5,077	3,915	5,217	6,172
新規事業	1,735	6,385	7,383	7,828
経常利益	5,160	8,400	11,500	13,000
親会社株主帰属 当期純利益	3,007	4,500	6,750	7,500

想定為替レート：JPY90/NZD JPY97/AUD

目次

03 経営計画

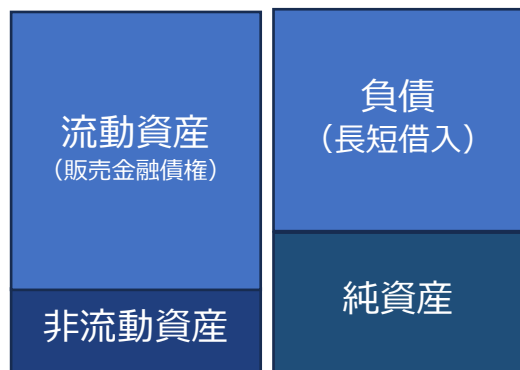
05 財務方針

10 事業戦略と展望

22 Appendix

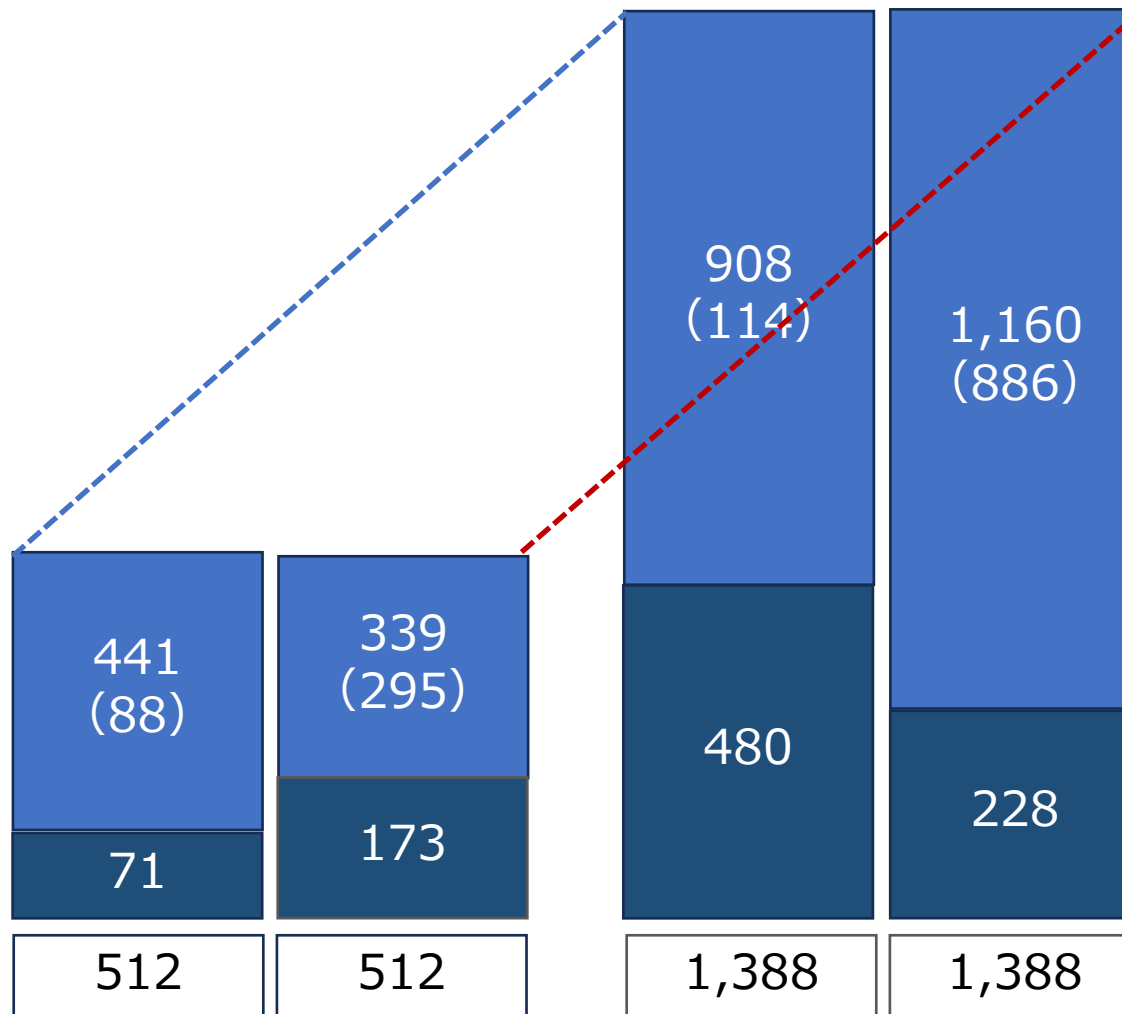


財務方針：連結貸借対照表推移



2023年3月期

2024年3月期



オートローン/流動資産	20.0%
Debt Equity Ratio	1.69
純資産比率	33.5%
ROE	14.7%
配当性向	31%

オートローン/流動資産	12.6%
Debt Equity Ratio	3.88
純資産比率	16.4%
ROE	15.0%
配当性向	未定

財務方針：目標財務指標 1/2



従前より掲げておりました目標財務指標：『D/E 2:1、純資産比率30%、ROE15%以上』を引き続き追及する方針です。以下事案に対する施策を以て財務体質の強化策、健全化策を具体的に実行して参ります。

純資産比率

30%

2023年11月のAutopact買収用ブリッジローン(230億円)の借入期限が2024年11月迄となること、また当社グループの次なる成長を目指すためにも財務体質改善施策が必須。借入資金のパーマネント化に関しては、有利条件での借換や資本増強による借入の圧縮等様々な検討を行っており、当該M&Aに因り33.5%(23/3末)から16.4%(24/3末)に低下した純資産比率の改善を目指します。尚、資本化を選択をする際には、適切なEPSを確保する方針です。

Debt Equity

2:1

成長期にある当社の当面の目標Debt Equity Ratioは2.0の一方、2023年11月Autopact買収時のブリッジローン230億円の借入実行により、2023年3月末1.69から2024年3月末3.88まで拡大したが、上記資本化により2.50レベルまで改善せしめ、R/Eの蓄積で以て早期に2.00をクリアしたいと考えています。

財務方針：目標財務指標 2/2

ROE

15%以上

今次中期定量計画に拠れば、日本会計基準の適用となる2025年3月期ではROE15%に未達となる可能性はあるものの、国際会計基準への移行を予定している2026年3月期以降は確実に15%以上を達成する見込みです。

配当性向

30%

(事業用資産のリサイクル原資を除く)

引き続き成長を目指す当社では、株主様への安定した還元により長期に亘る応援をお願い致したく、従来同様、配当性向30%の経営目標は維持する意向です。また会計基準変更未了による配当原資の低減に際しては、キャッシュフローに影響しない事象であることに鑑み、内部留保との適切なバランスを勘案しつつ、フェアな配当を検討する方針です。

オートローン債権
/連結流動資産

40%以下

自動車の総合サービス事業を推進する当社は、あくまで金融事業を主たる事業としない方針の下、定性的なB/Sリスクマネジメントの一環としてオートローン債権の総量規制を行っています。輸出の好調により2023年3月末20%から2024年3月末12.6%まで低下しました。コロナ禍の終焉・日常化を機に、従来の均衡方針を改め、NZ市場の需要に合わせた事業の拡大を予定しております。但し、この総量規制は継続する方針です。

■ 運転資金の現地調達化推進

前期までの複数のM&Aにより外貨建資産が急増し、バランスシートから生じる為替変動リスクが高まっている現状および外貨借入を増加させることで為替変動リスクポジションを縮小することを可能とする意味でも外貨借入の有効性が高まっております。

従前からの基本方針であった運転資金の現地調達につきニュージーランドにおける既存ビジネスモデルにおいてはほぼ実現していましたが、新たに事業拡大中のオーストラリアにおいて同様に運転資金の現地調達化を進めてまいります。

目次

03 経営計画

05 財務方針

10 事業戦略と展望

22 Appendix



新セグメント

2024年3月期まで

セグメント区分	貿易	物流	サービス	検査	オーストラリア
---------	----	----	------	----	---------



2025年3月期以降

セグメント区分	輸出入	物流	サービス	検査	小売・卸売
日本	日貿	大和ロジスティックス ポートサービス	—	JEVIC	—
ニュージーランド	—	Dolphin Shipping NZ	Auto Finance Direct Auto Trader Auto Advance Finance Universal Property	Vehicle Inspection NZ JEVIC NZ Fasttrack	Trade Cars Budget Car Auctions 2013 ^{※2}
オーストラリア	Global Carz	Autocare Service ^{※1} Dolphin Shipping AU	Blue Flag Auto Finance Direct AU	VITA AU ^{※1} AutoSolix	Autopact OzCar CarEmpire iWholesale Auto Edge

※1 2024年5月に子会社化、もしくは設立完了予定

※2 青字は持分法適用対象の関連会社

チャレンジの継続

■既存事業の収益力強化

輸出型モデル(バリューチェーン)の強化

■新規事業による成長

オーストラリアモデルの構築、新市場への足掛かり

経営資源の効率追求






■効率化追求による経営コストの削減

内外間接部門業務のシェアードサービス化推進、資金調達・運用の深化、人・システム・施設の統合や共有

■事業発展を支える市場政策と人的資源の確保

中期的な事業戦略を確りと伝えるIR活動、グループ経営人材の育成

チャレンジの継続(セグメント別)

セグメント	主なチャレンジ
 <p>輸出入</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ ニュージーランド市場シェアの維持。 □ オーストラリア・欧州等への展開による販売台数と利益の確保。 □ オンライン自動車販売広告事業とのシナジー追求、エンドユーザー向け事業（B2C、C2C）の探求。
 <p>物流</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 新商材・新仕向地の開拓、物流手段の多様化によるグループ事業を支える物流の確保。 □ 自社物流化の促進、現地物流・港湾ビジネスの拡充。
 <p>サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ オートローン事業の健全な拡大、サービス・機能の拡充やデータ事業等との連携による既存事業の収益力強化。 □ エンドユーザー向け事業を含む新規事業の開拓。
 <p>検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 経営・生産効率化による検査量増加。新規事業の確立（植物検査事業の収益化）。 □ 検査の品質とシェア回復による安定黒字化。 □ オーストラリア検査事業への進出、新たな技術・検査手法の確立と収益化。
 <p>小売・卸売</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 日本からの輸入を起点とするバリューチェーン構築によるオーストラリア市場での販路拡大と増収増益。 □ M&Aで取得した事業のPMI推進と同時に、既存事業とのシナジーによる収益増。

事業内容/ビジネスモデル

新車事業：ニュージーランドと市場構造が異なり新車中心のオーストラリアにおいて、新車販売や国内で生じる中古自動車の仕入・販売事業をプラットフォームとして周辺事業へ展開し、オーストラリア独自のビジネスモデルを構築中です。

中古車事業：日本から中古自動車を輸出し、船積前の清掃・検査・検疫、海上輸送、現地での整備・輸入車検に至る一貫したサービスにより現地ディーラー顧客網に商品をお届けし、更にディーラーの販売促進に資する消費者向けオートローンやウェブ広告、消費者向け車検・修理・部品販売を以て同国の自動車社会に最善(OPTIMUS)な商品・サービスをご提供しています。

新車事業



中古車事業

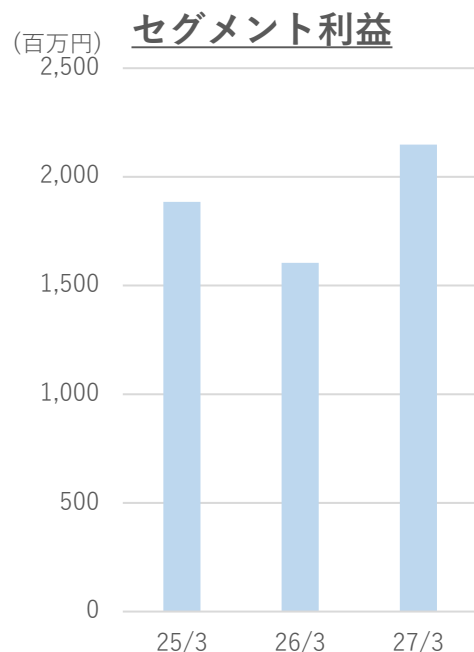
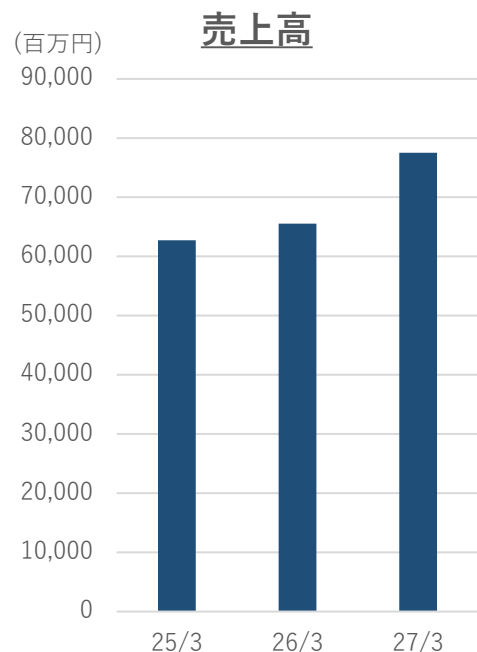


2025年3月期セグメント別定量計画



輸出入

単位：百万円	FY2025/3 計画	FY2026/3 目標	増減	FY2027/3 目標	増減
売上高	62,738	65,531	+4.45%	77,510	+18.28%
セグメント利益	1,885	1,604	-14.91%	2,148	+33.92%
従業員数 (臨時社員含)	78	80	+2.6%	80	±0%



【セグメント予想】

＜増収増益＞

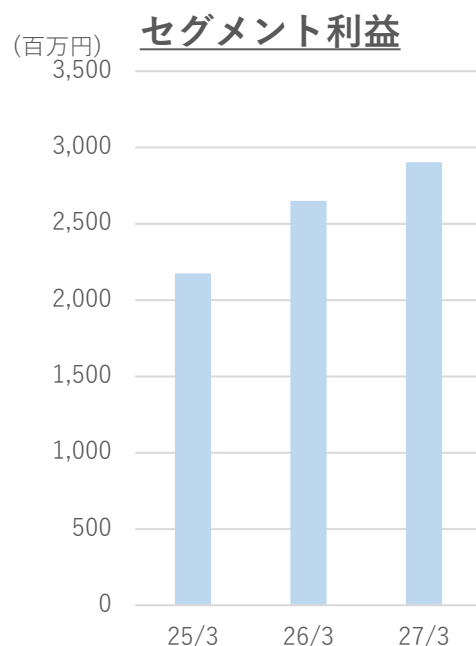
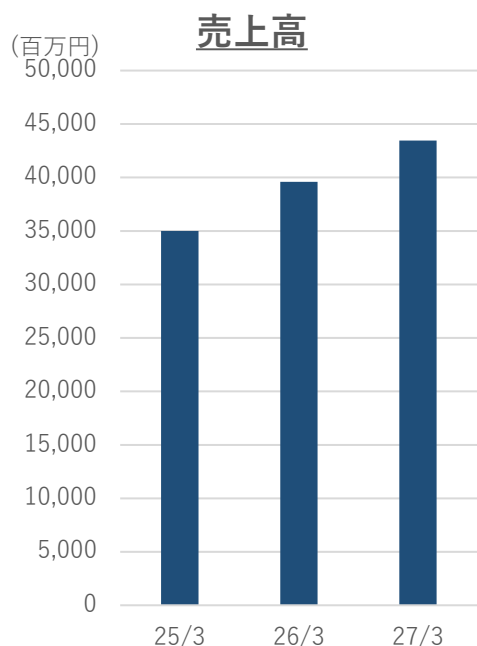
- NZのリセッション懸念等を見据え、堅実に優良既存顧客の維持と1台あたりマージンの更なる改善により市場シェアを維持しながら利益の確保を図る。
- NZ以外地域への事業展開を加速させつつ、AU販売も拡大化することで中古自動車販売台数の増加を目指す。
- 日貿や2024年3月期に設立したAU現地JVとの連携を中心にGlobal Carzの輸入中古自動車の取扱い拡大推進。

2025年3月期セグメント別定量計画



物流

単位：百万円	FY2025/3 計画	FY2026/3 目標	増減	FY2027/3 目標	増減
売上高	35,005	39,594	+13.11%	43,451	+9.74%
セグメント利益	2,176	2,650	+21.78%	2,904	+9.58%
従業員数 (臨時社員含)	552	569	+3.08%	587	+3.16%



【セグメント予想】

<増収増益>

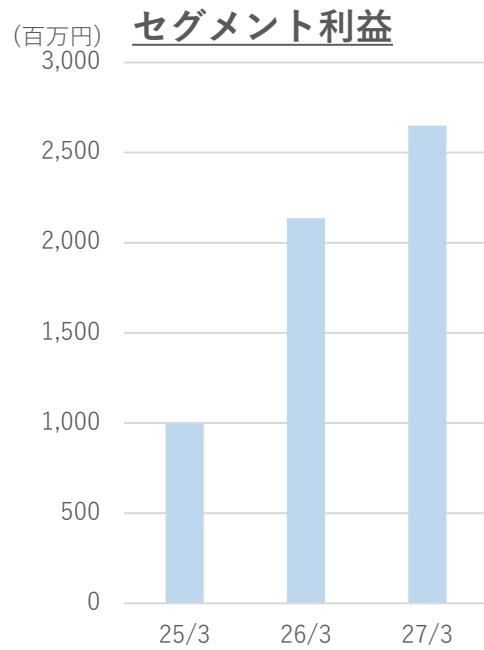
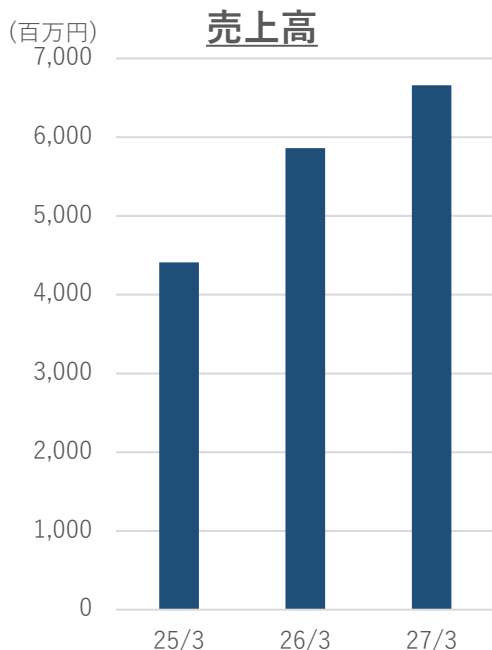
- 前期からの取扱台数反動を予想するNZ市場では短期的物量の停滞を想定するもスペース調達コストの上昇をスペースの確保、顧客の維持、顧客への価格転嫁を遂行し、適切な利益の確保に努める。
- AUでは新規顧客獲得と日豪航路事業の強化により増大を目指す。
- Autocareは新規顧客獲得による業界シェアNo.1奪回と、シナジー追求によるグループ収益を創出する。

2025年3月期セグメント別定量計画



サービス

単位：百万円	FY2025/3 計画	FY2026/3 目標	増減	FY2027/3 目標	増減
売上高	4,411	5,861	+32.87%	6,660	+13.63%
セグメント利益	995	2,136	+114.67%	2,650	+24.06%
従業員数 (臨時社員含)	94	100	+6.38%	106	+6.00%



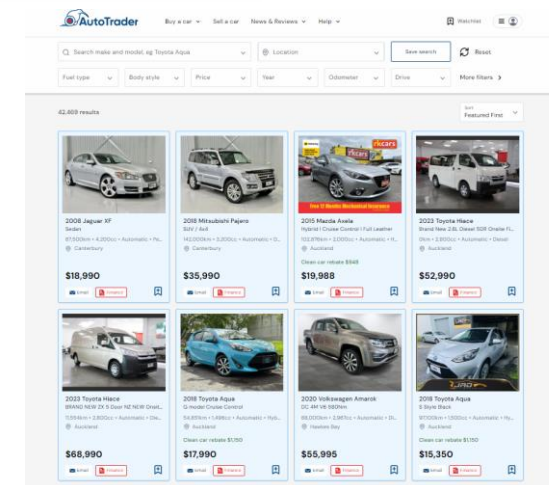
【セグメント予想】

＜増収増益＞

- NZでの個人向け中古自動車購入資金のローンを貸出しているAuto Finance Directでは、既存顧客層の維持に加え、新顧客層やNZ以外の地域展開、グループ会社との連携による優良顧客の確保を進める。
- オンライン自動車販売広告サイト運営のAuto Traderはブランディングと機能の徹底強化によるディーラー層への利用促進を図る。

Auto Trader

創業1981年来ニュージーランド全域で自動車販売広告を専門で行っている老舗企業。現在は一般消費者向けオンライン自動車売買広告に特化したサービスを自動車ディーラーに提供。



■ 当面の戦略

自動車のオンラインを通じた自動車売買取引が活況なニュージーランドにおいて、オンライン広告サービスを提供するAuto Traderの子会社化は、当社グループの顧客であるディーラーの販売促進の支援など既存事業との高いシナジー効果が見込まれます。

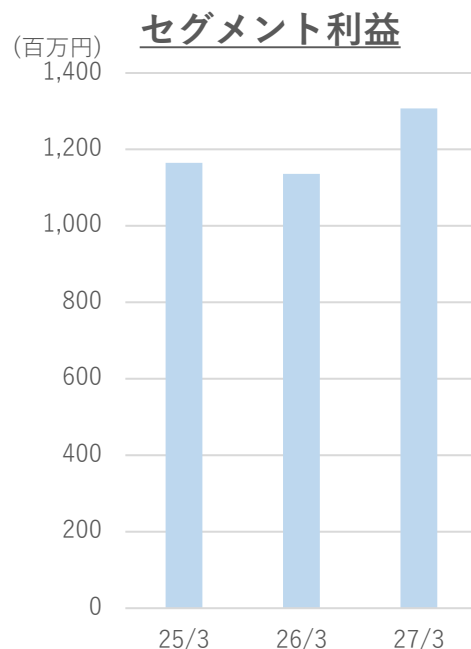
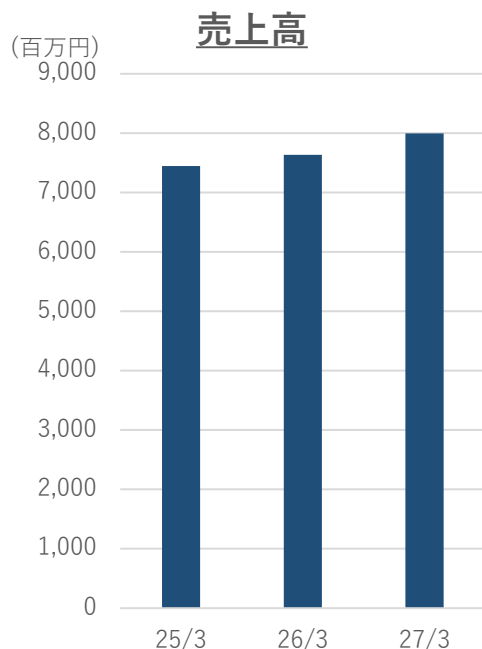
また、広告を通じ一般消費者との直接接点を有する同サービスをグループに取り込むことは、エンドユーザー向け事業を含め当社グループの新たな事業プラットフォームとしても寄与するものと考えており、ニュージーランドにおける更なるバリューチェーンの強化・延伸を推進してまいります。

2025年3月期セグメント別定量計画



検査

単位：百万円	FY2025/3 計画	FY2026/3 目標	増減	FY2027/3 目標	増減
売上高	7,445	7,634	+2.54%	7,996	+4.74%
セグメント利益	1,165	1,136	-2.49%	1,307	+15.05%
従業員数 (臨時社員含)	329	329	±0%	329	±0%



【セグメント予想】

<増収増益>

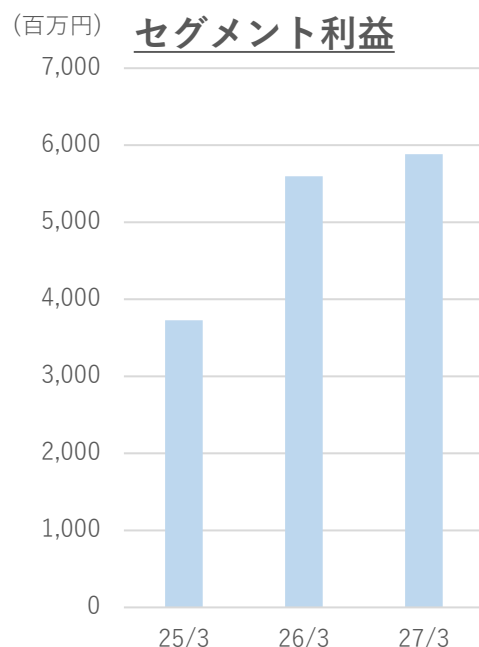
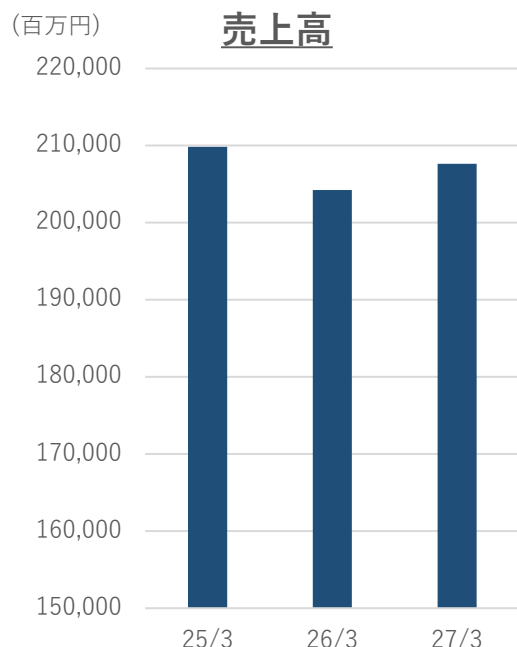
- 日本のJEVICはシェア上げを図ると共にテクノロジー導入や検査手法の開発、原価のコントロール等の生産性向上施策により売上高総利益率の維持を目指す。
- NZのVINZは慢性的な検査人材不足から、既存検査は厳しい業況が続くものの、テクノロジーの導入やグループ会社との連携により生産性の向上を図る。
- AUでの検査やコンプライアンス事業への参入含む輸入中古自動車プロセスの改善を図り、グループの競争優位構築に寄与し新たな収益源を獲得。

2025年3月期セグメント別定量計画



小売・卸売

単位：百万円	FY2025/3 計画	FY2026/3 目標	増減	FY2027/3 目標	増減
売上高	209,836	204,222	-2.68%	207,627	+1.67%
セグメント利益	3,728	5,596	50.11%	5,884	+5.15%
従業員数 (臨時社員含)	1,664	1,698	+2.04%	1,731	+1.94%



【セグメント予想】

<増収増益>

- AUは新車販売台数増加も販売競争激化による1台当り粗利減少を想定、中古自動車の販売増やグループ会社間連携推進によるシナジー効果の創出、新規事業の推進等により利益確保に努める。
- NZにおける顧客困り込みの継続とエンドユーザー向けサービスの強化。
- 直営とフランチャイズの両方式でのOzCar店舗数拡大による地域と商量を拡大。
- グループ内連携によるAU型の輸入中古自動車販売モデルを早期確立。

Autopact

オーストラリア東部 3 州で新車販売を展開する大手自動車ディーラーグループとして多拠点展開。

多数のメーカー・ブランドを販売。量販車、高級車、SUVからEV、商用車まで幅広いラインナップを提供。新車販売以外に中古自動車販売、自動車金融販売、パーツ販売、修理・アフターサービス等をフルサービスで提供。



Autocare

2024年2月1日付で株式売買契約を締結し、5月より連結子会社化予定。オーストラリア第二の自動車総合物流企業であり、同国内全ての主要港地域に戦略的な事業拠点を展開しており、大手自動車メーカーを含む輸入自動車の入港後の輸送や保管を行う。

その他、保管倉庫、清掃、検疫、通関手続き、納車前の整備・点検・メンテナンスなど、自動車販売顧客への新車納車までの一連のサービスをフルラインナップで提供している。



■当面の戦略

新車ディーラーのAutopactや中古自動車販売のOzcar、中古自動車の輸入を手掛けるGlobal Carzをはじめとした既存事業との連携により、オーストラリアモデルの構築を加速いたします。

当社グループが持つ知見、ノウハウ、経営資源を活かしつつ、AutopactやOzcar、Global Carzとのシナジー効果を最大化するとともに、グループの経営効率を高めてまいります。

目次

03 経営計画

05 財務方針

10 事業戦略と展望

22 Appendix



会社概要



会社名	株式会社オプティマスグループ	
設立	2015年1月	
資本金	4億7,909万円	
代表取締役社長	山中 信哉	
本社	東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 8階	
事業内容	グループ会社の経営管理及びそれに付随する業務 主たるグループ会社の事業：自動車販売、貿易、物流、検査、サービス	
連結子会社	22社（国内4社、海外18社）	2024年3月31日現在
従業員数	単体：30名 連結：2,099名	2024年3月31日現在

経営理念・グループビジョン・行動指針

経営理念	正しく公平な経営により、最善の貢献を図る
グループビジョン	楽しく安全な移動手段と、一人一人に最適なサービスを提供する事業を究める 新しい価値や革新的なサービスを創り出し、未来に向かって事業を拓く すべてのステークホルダーと自然との共栄を図り、世界人としてグローバル社会の発展に貢献する
行動指針	<ul style="list-style-type: none">■ 情熱 - 仕事を楽しみ、情熱をもって仕事をする■ 挑戦 - 既成概念にとらわれず、常に挑戦する■ 不撓不屈 - 絶対に諦めず、信念を持って前進し続ける■ プロフェッショナリズム - プロフェッショナルとしての誇りと責任を持ってサービスを提供する■ 感謝 - ステークホルダーのご支援に感謝し、ご縁を大切にする■ チームワーク - チームのすべてのメンバーを尊重し、思いやりを持って行動する■ 献身と調和 - 正しく献身的に仕事をし、社会と調和を図る■ 社会への責任 - 一人一人が会社を担う一員である自覚を持ち、社会に対する責任を果たす

業務執行取締役



代表取締役
山中 信哉



取締役
ロバート・アンドリュー・ヤング
貿易セグメント
サービスセグメント管掌



取締役
マーティン・フレイザー・マッカ
ラック
物流セグメント管掌



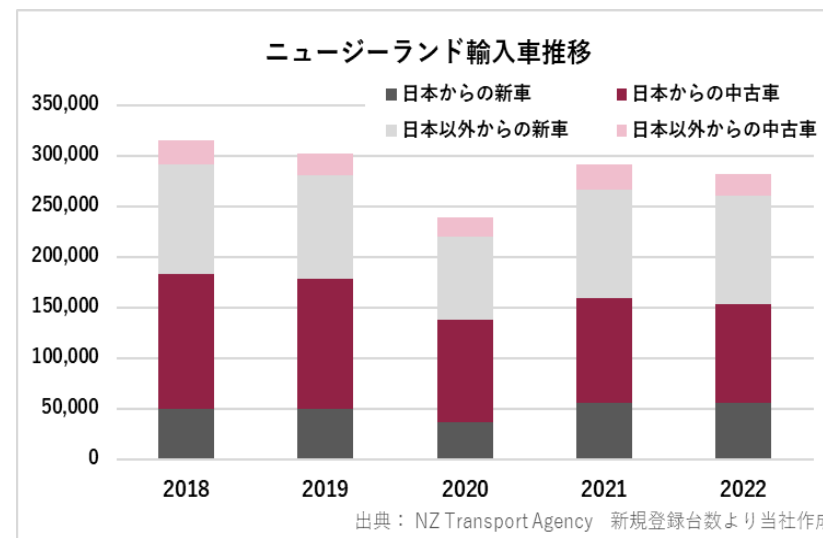
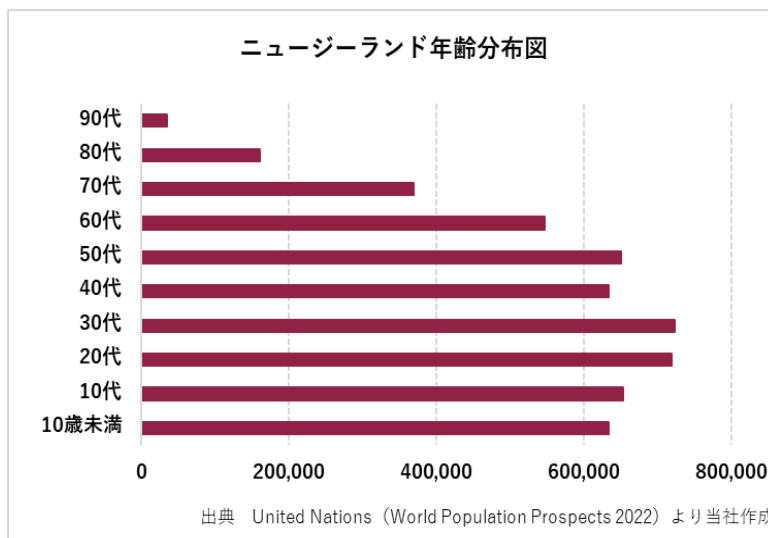
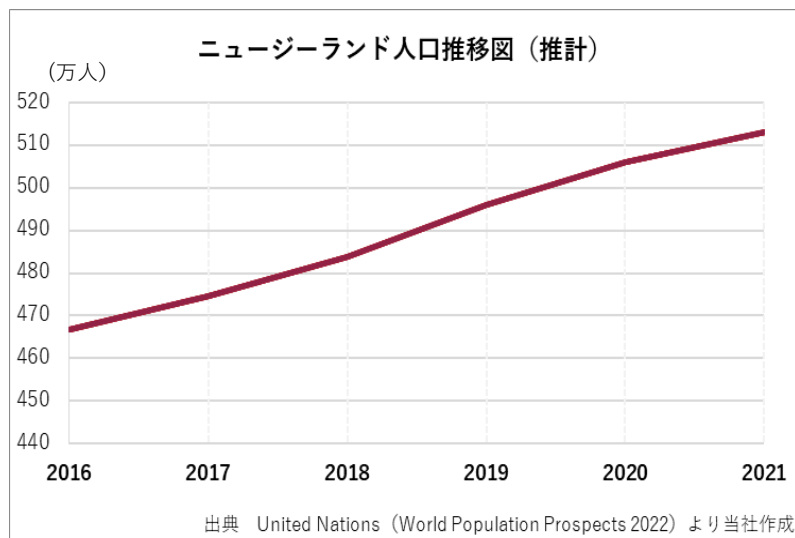
取締役
ジョン・スタータリ
オーストラリアセグメント管掌



取締役
岩岡 廣明
管理部門管掌

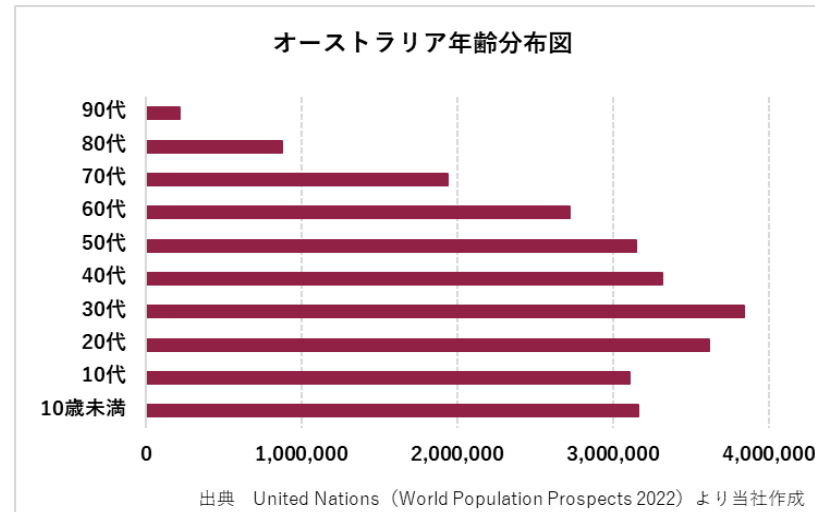
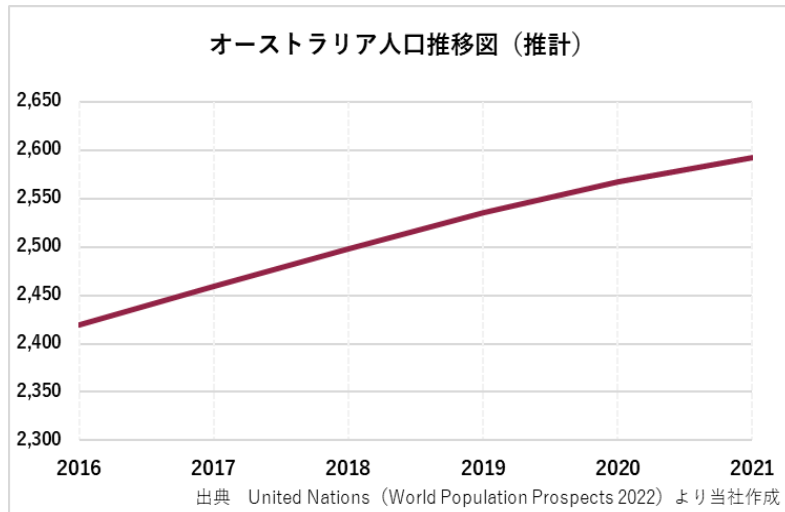
事業環境～ニュージーランド

- 移民政策により継続的に人口が増加し、公共交通機関が限られているため、移動手段として自動車利用が多い。
- 自動車の利用ニーズの高いプライムエージワーカーの比率が高い。
- 国内に自動車メーカーがなく、全て輸入車になるため自動車への輸入関税がない。
- アングロサクソン系先進法治国であり、商慣習相違リスクやカントリーリスクが少ない。GDP成長率も高く市場として安定的且つ継続的な成長が見込む。



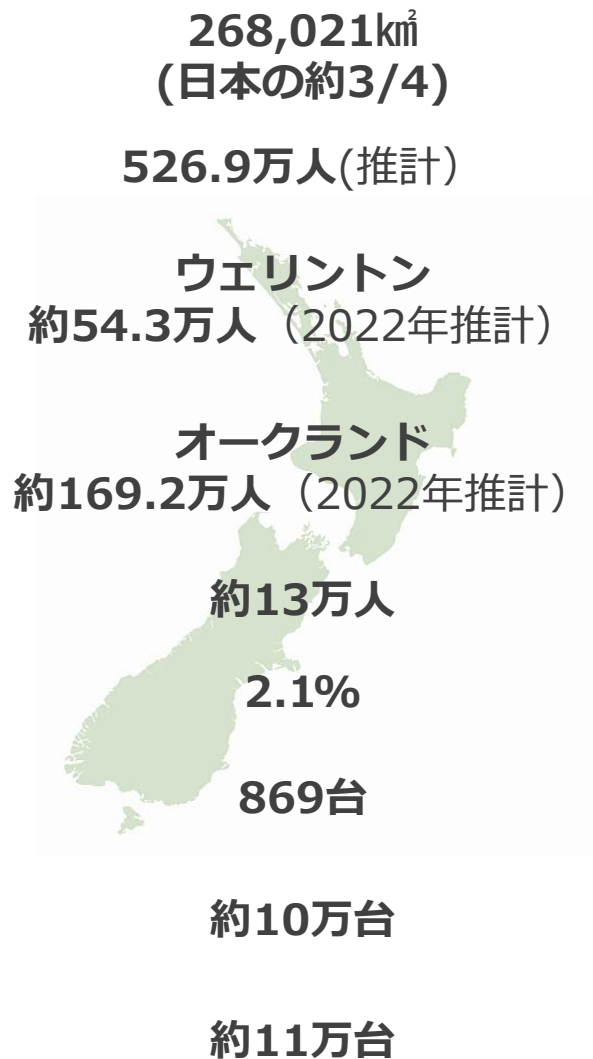
事業環境～オーストラリア

- 移民政策により継続的に人口が増加し、公共交通機関が限られているため、移動手段として自動車利用が多い。
- 自動車の利用ニーズの高いプライムエージワーカーの比率が高い。
- 国内に自動車メーカーがなく、全て輸入車になるため自動車への輸入関税がない。
- アングロサクソン系先進法治国であり、商慣習相違リスクやカントリーリスクが少ない。
- 中古自動車の輸入には様々な制限があったが、政策が見直され門戸が開かれつつある。
- GDP成長率も高く市場として安定的且つ継続的な成長が見込む。
- 従来より日本車のシェアが高く、日本車の優位性が既に定着し、備わっている。



主要マーケット

New Zealand



国土

人口(2023年)

首都(人口)

最大都市(人)

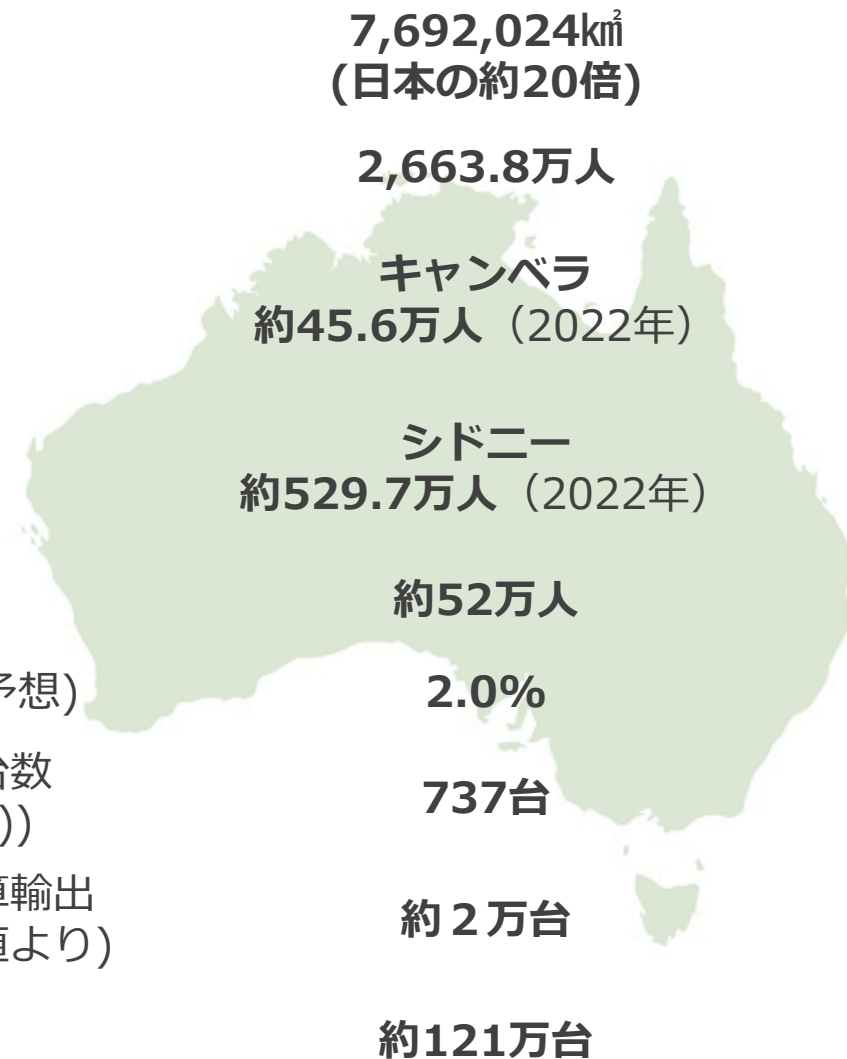
移民数(2023年推計)

GDP成長率(2025年IMF予想)

千人当たり自動車保有台数
(2020年、(日本612台))

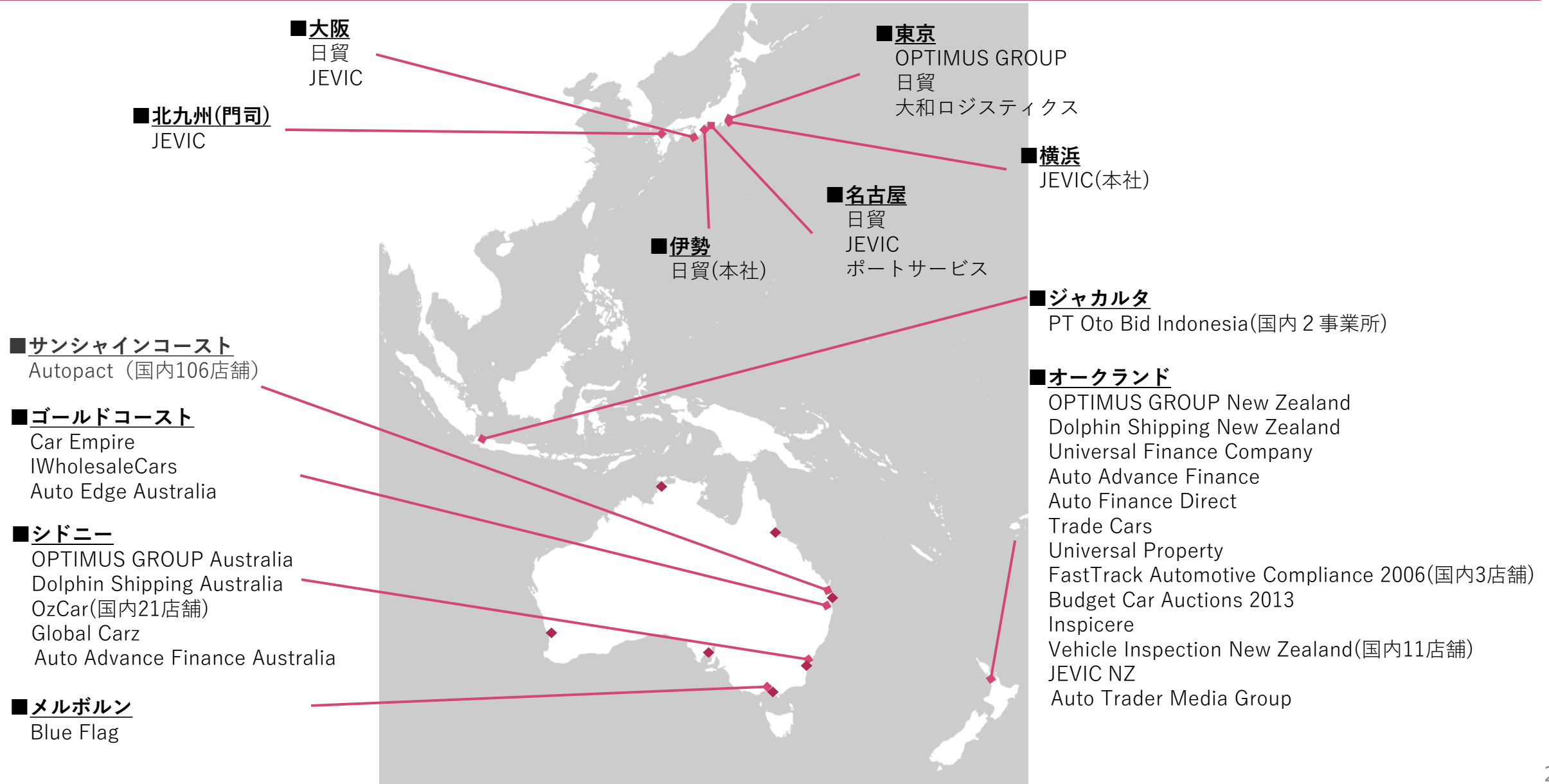
日本からの中古自動車概算輸出
台数(2017~2022年統計値より)

新車登録台数
(2023年)



Australia

グループ会社所在地(2024年3月31日現在)



グループ会社一覧



日本：5社 ニュージーランド(NZ)：13社 オーストラリア(豪州)：10社 インドネシア(尼国)：1社

【グループ本社・地域統括会社】

株式会社オプティマスグループ

OPTIMUS GROUP New Zealand Limited (NZ)

OPTIMUS GROUP Australia Pty Ltd (豪州)

【貿易セグメント】

株式会社日貿 (日本)

PT Oto Bid Indonesia (尼国)

【物流セグメント】

大和ロジスティクス株式会社 (日本)

ポートサービス株式会社 (日本)

Dolphin Shipping New Zealand Limited (NZ)

【検査セグメント】

株式会社JEVIC (日本)

Inspicere Limited (NZ)

Vehicle Inspection New Zealand Limited (NZ)

JEVIC NZ Limited (NZ)

【サービスセグメント】

Universal Finance Company Limited (NZ)

Auto Advance Finance Limited (NZ)

Auto Finance Direct Limited (NZ)

FastTrack Automotive Compliance 2006 Limited (NZ)

Trade Cars Limited (NZ)

Universal Property Limited (NZ)

Budget Car Auctions 2013 Limited (NZ)

Auto Trader Media Group Ltd(NZ)

【オーストラリアセグメント】

Global Carz Pty Ltd (豪州)

Dolphin Shipping Australia Pty Ltd (豪州)

Blue Flag Pty Ltd (豪州)

Auto Advance Finance Australia Pty Ltd (豪州)

OzCar Pty Ltd (豪州)

Car Empire Pty Ltd (豪州)

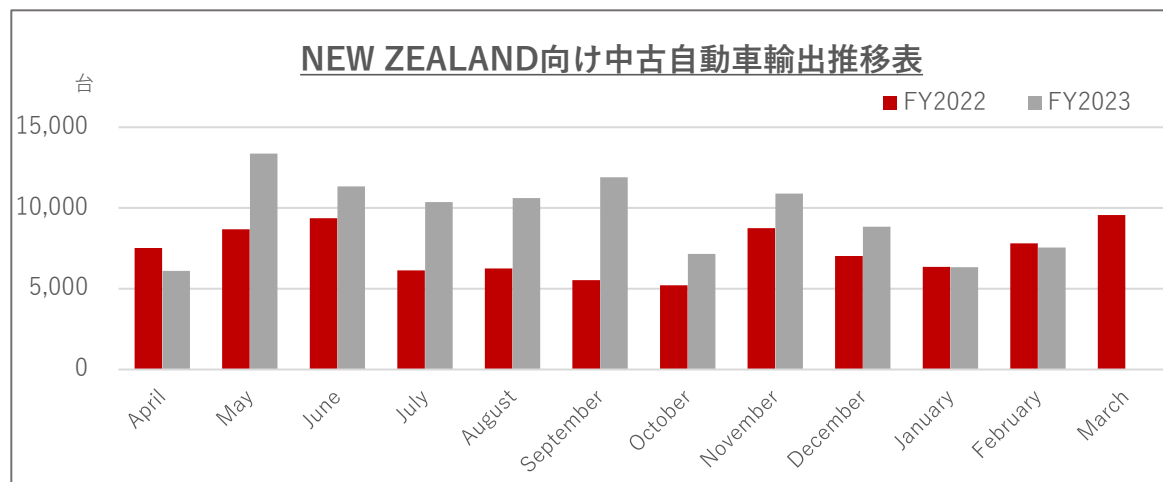
IWholesaleCars Pty Ltd (豪州)

Auto Edge Australia Pty Ltd (豪州)

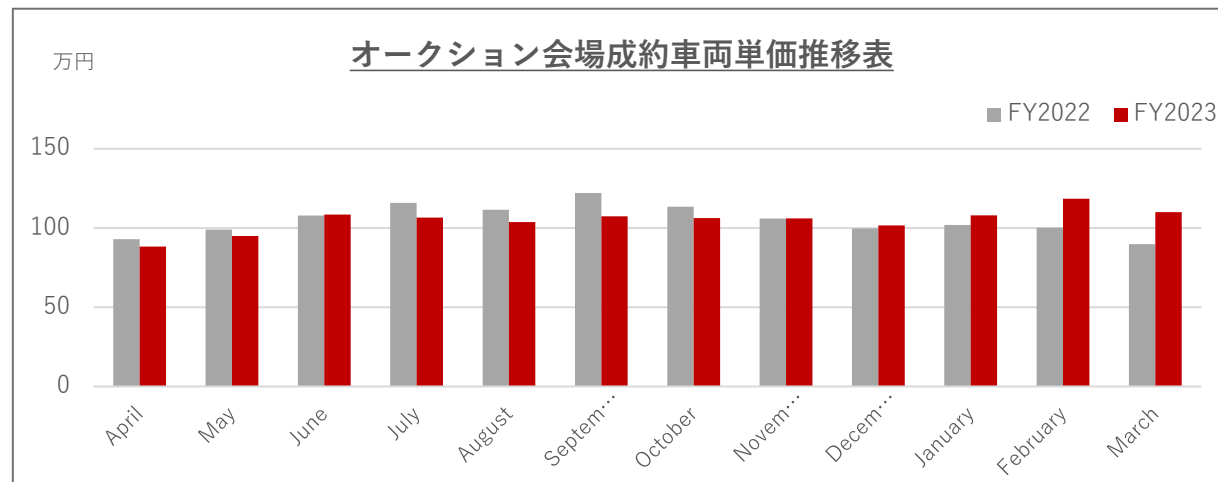
Autopact Pty Ltd(豪州)

(2024年3月31日現在)

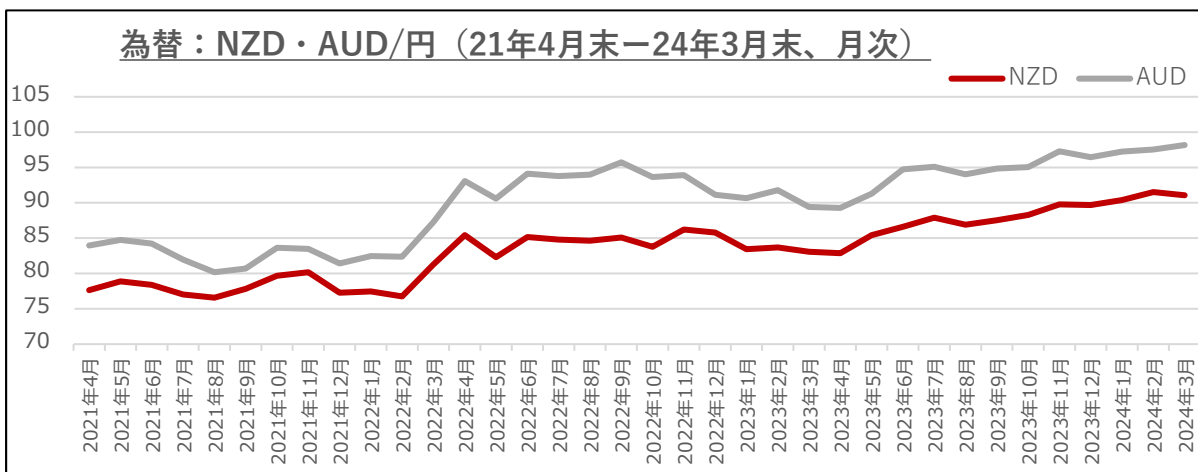
事業環境:各種データ



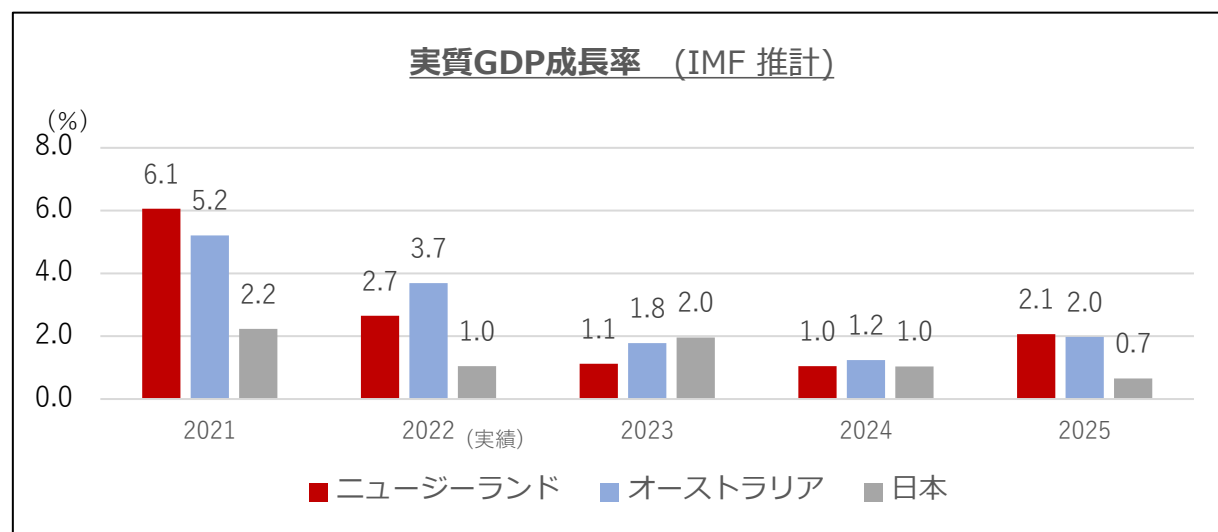
出所：財務省「貿易統計概況品別推移表」より当社作成



出所：株式会社ユー・エス・エス「オークションデータ」より当社作成



出所：みずほ銀行の月次平均レートより当社作成

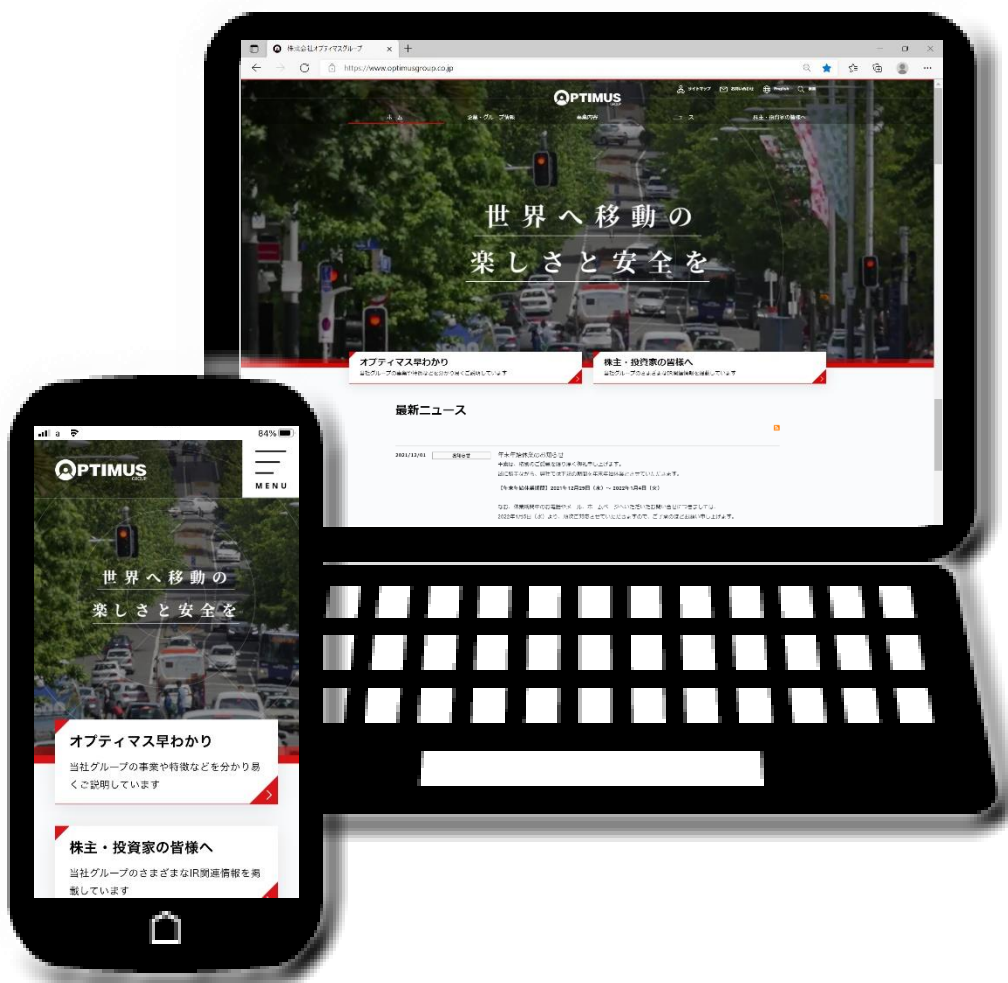


出所：IMF「World Economic Outlook October 2023」のデータより当社作成

年度平均 (円/NZD) (円/AUD)

2023/3期	84.46	92.66
2024/3期	88.12	95.06

出所：みずほ銀行
各年度の日次レートの平均



株主・投資家の皆様に当社の情報を発信しております。

今後も内容を充実してまいりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.optimusgroup.co.jp/>

■ 主要コンテンツ

- 企業・グループ情報
- 事業内容
- ニュース
- 株主・投資家の皆様へ
- オプティマス早わかり
- サステナビリティ

本資料お取扱い上のご注意

- ✓本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を通して、当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された将来の業績に関する記載は、当社が将来の業績を保証するものではなく、現時点において入手可能な期待・見積・予想および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を有しております。
- ✓将来の業績は、経済情勢などの当社の経営環境、事業環境の変化等により予告なく変更することがございます。
予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

総務・IRユニット

Mail:info@optimusgroup.co.jp

Tel:03-6370-9268 (IR直通)